

平成 26 年度 かんだ連雀 事業報告

I 概要

1) 利用者動向

特養の平均介護度は 3.6（前年度 3.74）。要介護 1 が 2 名、要介護 2 は 9 名で軽度化傾向が続いている。医療対応は在宅酸素が 2 名、導尿 1 名。通所介護は稼働率が 76.0%（前年度 62.3%）と大幅に改善した。

2) 職員・育成

特養は下半期より職員の退職、感染症対応で職員への負担が増加。特に看護は半期で全員が入れ替わった。補充、育成に努め、次年度に向けて体制作り重点を置いた。訪問介護・定期巡回で増員した非常勤職員に対する育成については一定の成果を見せた。居宅は 6 月より 3 人体制に増員し、順調に定着した。

3) 平成 26 年度事業計画についての報告

事業管理者の業務管理についての意識は強くなっているが、日々の確認・報告事項等具体的な部分は次年度の課題として残った。業務整理については少しではあるが、会議録の書き方に効率的な改善が見られた。収支状況は目標には届かないが、ある程度の本部借入金の返済ができる見込みとなった。

4) 平成 26 年度重点の動き

定期巡回随時対応型訪問介護看護の 2 年目は平均利用者数 6.6 名（最大 9 名）と増加した。高齢者総合サポートセンターの事前準備を区と 2 法人で行い、次年度からの準備業務開始に向けて環境を整えた。

II 事業別動向

区分	成 果	課 題
特養	当日のリーダーを中心に全体把握し、フォローが必要なフロアへフリー職員が入る等まとまりが強化した。	個別的ケアの充実 中堅層の育成
短期入所	稼働率低下の状況のなか、緊急ショート受け入れを積極的に行い、安定したケアを行う。	新規利用者確保を確保し 稼働率の向上。
デイサービス	家庭的な雰囲気での活動が定着し、稼働率を向上することに繋がった。	危険予知及び申し送りの 在り方
ホームヘルプサービス	人員の増加に伴い、技術向上の研修や情報の共有化に努め質が向上したが、 収支はきびしい結果となった。	定期巡回との業務整理 新規利用者の獲得
定期巡回・随時対応	経験の積み重ねにより、より定期巡回の理解が深まり件数も増加したが、 収支は厳しい結果となった。	利用者増を睨んだ職員体制構築と勤務体制再構築
地域包括支援センター	集合住宅での支援課題、医療ケースの増加等、変化する地域ニーズに事業所との連携により対応してきた。	新総合事業の全体理解と 対応方法の確立。
居宅介護支援センター	定期巡回サービスを理解し、新規にケースの取り入れができた。 1 名増員し、件数も 90 件を超えた。	地域ケア会議の参画と制度の理解
事務	運行管理業務の入札を岩本と共同で行った。電気の使用量は年間を通じて昨年度を下回ることができた。	法人指標を遵守した予算執行
管理	高齢者在宅サービスセンターの医療ケース受け入れについての道筋を明確化した。	シフトのつなぎで 24 時間を維持する意識付け

III リスクマネジメント

1) 苦情・第三者評価

第三者評価は従来の 3 事業に加え定期巡回を実施した。苦情は 2 件あった。

2) 感染症等予防・蔓延防止の取組

12 月から 1 月にかけて感染性胃腸炎が蔓延し、保健所指導を受けながら対応にあたった。

3) 緊急対応

救急搬送は 8 名。嘱託医との連携により病院への搬送は迅速に実施できた。

4) 防災

毎月の防災訓練にて、夜間の火災に対する基本的な自衛消防の初動の動きの再確認と共有を行った。

5) 勤務管理

根拠のある勤務表の作成、および朝礼・夕礼における日々管理を実施した。

IV 事業別年間の実績概要

1) 入所部門

(単位：名)

	定員	利用者（実施数）				入院者数		新規利用		利用終了		平均		待機者
		延べ人数	月平均	稼働日数	稼働率(%)	実人数	月平均	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢(歳)	
特養	55	19368	1614	365	96.4	9	0.7	10	0.8	13	1.0	3.6	88.5	159
短期入所	5	1665	138	365	91	—	—	26	2.2	20	1.7	3.2	86.5	—

※待機者は、申込書を提出したことがある者を言う。

2) センター部門

(単位：名)

	利用者（実施数）				新規利用		利用終了		平均	
	延べ人数	月平均	年間実人数	月平均実人数	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢(歳)
通所	3,492	291	47	41.6	13	1.08	11	0.9	2.5	86.7
予防通所	44	3.6	3	0.25	3	0.25	0	0	支援2	85.3
通所合計	3,536	294	50	41.9	16	1.3	8	0.6	2.4	86.6
在宅支援サービス	594	49.5	8	7.4	2	0.1	2	0.1	—	84.1
訪問介護	2284	190	38	25.9	10	0.8	11	0.9	2.1	86.7
予防訪問介護	399	33.2	12	7.6	5	0.4	2	0.1	1.4	82
訪問介護合計	2683	223.2	50	33.5	15	1.2	13	1	—	83.8
定期巡回	2,236	186	10	6.4	10	0.8	3	0.25	2.6	88

3) 支援センター部門

(単位：名)

	利用者（実施数）				新規利用		利用終了		平均	
	延べ人数	月平均	年間実人数	月平均実人数	実人数	月平均	実人数	月平均	要介護度	年齢(歳)
地域包括支援センター（総合相談）	16546	1378	875	72.8	102	8.5	—	—	—	—
介護予防推進事業	神田で元気にながいき教室	157	13.08	107	8.9	—	—	—	—	—
	家族介護サロン	6	0.5	6	0.5	—	—	—	—	—
	神田で元気に手遊びフラ体操	31	2.58	20	1.66	—	—	—	—	—
予防居宅	1864	155	232	155	74	6	75	6	1.4	82.5
居宅介護支援	897	75	868	72	30	2.5	23	1.9	2.3	85

4) 苦情・事故報告

	延べ件数	月平均件数	解決件数	未解決件数	対応中件数
利用者からの苦情	2	0.2	2	0	0
事業所からの苦情	0	0	0	0	0
職員からの苦情	0	0	0	0	0
その他苦情	0	0	0	0	0
施設内事故	31	2.6	31	0	0
施設外事故	0	0	0	0	0